

ぼくしどおり

牧之通りのまちづくり

【応募者】 氏名：新潟県南魚沼市 / 住所：949-6696 新潟県南魚沼市六日町 180-1（塩沢庁舎 都市計画課 949-6492 南魚沼市塩沢 1370-1） / 連絡先：TEL(025)782-0253 FAX(025)782-4730 Email:toshikei@city.nimanuonuma.lg.jp

●応募理由

南魚沼市塩沢地区は、「旧三国街道」沿いの宿場町で、関東圏と新潟を結ぶ街道の要所として賑わいを見せた地である。また、奈良の正倉院にも約 1200 年前の献上布が保存されているという重要無形文化財「越後上布（えちごじょうふ）」や「塩沢紬」「本塩沢」などの伝統の織物の産地として、あるいは、江戸時代の雪国の暮らしを記した名著「北越雪譜（ほくえつせっぷ）」の著者として知られる鈴木牧之（すずきぼくし）のふるさととして知られる旧来の市街地である。街道沿いの商店街は、間口が狭く奥行きのある町屋の様式を備え、市街地内部には、機織工場などが点在している。

昨年、一昨年の豪雪の年以外でも毎年 2 メートルを超える積雪に覆われ長い冬を送る厳しい自然条件であるが、そこから生まれる清水により古くから織物、酒造り、また魚沼産コシヒカリの産地としても名高い。地区内の建物には古きよき風情を一部に残すものの、商店等の無秩序な改装により表通りの魅力は損なわれており、狭い道路幅員、歩行者空間の不備等により中心市街地としての求心力を失って久しい。

そこで旧塩沢町では、平成 5 年に H O P E 計画を策定し、塩沢地区中心商店街を魅力ある商店街とするために「快適な歩行空間づくり」「統一感のある商店街づくり」「雪国文化を巡るプロムナードづくり（鈴木牧之記念館や紬、蔵等の歴史資源のネットワーク）」が提案された。

その後、南西側より県道仲田・塩沢線の整備が進行したが、十日町・塩沢線を境に、今まで通りの街路事業ではなく、H O P E 計画の主旨に合うよう再度行政と地元住民が検討を重ね、各種事業を投入して、一体的に旧三国街道の塩沢特有の街並みを再現しながら街路と建物整備を行った。

具体的には、地区の中央を貫く「旧三国街道」沿線の地区住民を中心に「牧之通り組合（ぼくしどおりくみあい）」を結成し、まちづくりに取り組んできた。平成 15 年度からの県施行の街路事業にあわせ、画一的でなく歴史と文化を感じられる塩沢地区特有の街並みの再現を目指すこととして「まちなみ形成協定」を締結した。建築物の外観・意匠の統一、色彩の制限などで景観形成を図るほか、それぞれ個人が 2 メートルのセットバック（個人名義のままで宅地の提供）をして雁木どおりの建築を進めることで、公共的空間の創出を行っている。17 年度までに 15 軒が完成し、今年度も 8 軒が建築予定である。

道路改良事業を機に、より積極的にまちづくりに関わり、実際に街並みを造りあげつつある状況である。今後の塩沢地区全体への広がりや、地区内外への刺激を期待し、応募に至るものである。

●作品または活動の概要

①事業主体

【住宅の改築】個人（県街路事業にかかる補償を含む）

【雁木通り建設】個人（補助金あり 県 1/3、市 1/3、個人 1/3）

新潟県まちなみ空間創出整備支援事業補助金

【県街路事業】新潟県（県道仲田塩沢線改良事業）

【市道改良事業】南魚沼市（まちづくり交付金事業「塩沢地区」）

②計画概要について下記事項を参考に記入

●建築協定等

【住宅の改築】

- ・雁木に似合う塩沢の歴史と雪国の文化を刻むにふさわしい外観で本物にこだわったもの
- ・木造、高さ 11m 以下（高床式建築の禁止）
- ・切り妻（妻入り、平入り）か入母屋、黒色系
- ・伝統的装飾である「風返し」を取り入れる / ・木の自然色または黒及び茶色系の柱
- ・しっくり仕上げなどで白・黒・茶系の外壁 / ・腕木ひさし、たて格子やよこ格子で和風の窓飾り
- ・和風な修景の看板、行灯風門灯、和風な塀 など
- ・協定の年限は平成 14 年度末より 10 年間 / ・大規模な改築の際に街並み環境づくりに協力
- ・10 年後は街づくりの進展を勘案して協定者で協議

【雁木通り建設】

- ・H15～H20（上記県市補助事業年限） / ・L=350 m×両側、W=2.0m（個人所有地）
- ・H15=3 軒 69.0m、H16=6 軒 101.0m、H17=6 軒 92.0m、 / ・H18=8 軒 97.4m（予定）
- ・木造平屋、魚野川のくつ石、黒こげ茶系色彩 / ・玉砂利洗い出し舗装 / ・組合で維持管理

【建築協定】

「塩沢雪国歴史街道まちなみ形成協定」

- ・上記沿線住民（個人・法人）40 名

●街路事業：参考

【県街路事業】L=450m W=16.0m ～H20

●作品または活動の特色

伝統的な建築様式、意匠を取り入れた、他にはない「塩沢らしさ」をテーマとし、活力ある塩沢の再生と次代に誇れる街づくりを目指す。

今年度から、道路改良工事が始まり、3 年後には電線の地中化も予定され、より景観に配慮した街並みが生まれることとなる。古きよき街並みの「保存」を図る事業は、多々見られるところであるが、塩沢地区では、昔の塩沢の建築様式などを材料に住民が討議を重ね、古くからの建物と調和する建築により統一感のある新たな街並みの形成を図ろうと考えている。

建築協定の締結後は、組織内に「まちなみ形成協定運営委員会」を設け、一軒一軒の建築の内容や商店の看板の色彩・形状などを積極的に審査している。そこでの助言や修正を受けてようやく建築される建物には「合格証」の標が掲げられることとなる。

こうした地区住民の活動は、他の多くの地区のまちづくりの可能性を広げるものとなることと思われる。



雁木と調和する家並み / 地域独特の意匠である「風返し」を取り入れ、色彩にも配慮した建物が軒を連ねています。



雁木通りの趣 / 本物にこだわった純和風の雁木と建物は落ち着いた雰囲気醸しています。



雁木通りと店舗 / 街並みや雁木通りに調和したデザインのお店が並んでいます。



行灯風の門灯（屋号）と「まちなみ景観協定合格証」 / 協定と個々の審査により統一感のある街並みが形成されてきています。



信用組合横の駐車場へ / 景観への配慮は奥行きにも表れています。



道路改良を待つ街並み / 道路改良、電線地中化が行われると街並みがよりすっきりと美しくなるでしょう。